

一般情報パンフレット

この一般情報パンフレットには、OIST 身体性認知科学ユニットが実施するいずれかの研究への参加を検討している方にとって重要な情報が記載されています。参加に同意する前によくお読みになってください。

当ユニットは適応行動に関心を持っています。適応行動とは、脳・身体・環境間の相互作用から現れる行動です。私達はさまざまな方法を使っていますが、中には知覚、コミュニケーション、社会的相互作用などを研究するための実験に参加していただけるボランティアの方々が必要となるものもあります。このような実験では、基本的に参加者の行動（運動軌跡、知覚判断、反応時間など）を記録しますが、筋活動、心拍数、電気的脳活動などの生理学的評価も必要です。また、一部の実験では、参加者に新型のツールを使っていたり、ロボットと接触していただいたりすることが必要になります。このような方法は多岐にわたりますが、すべて非侵襲的であり、リスクは全く無いか、あってもごくわずかです。しかし、参加者の安全性を確保するため、いくつかの条件を満たしていなければ参加していただけません。これらの条件については、参加前に「スクリーニングフォーム」を用いて確認させていただきます。

私達が行う研究は、独立した委員会である OIST 人対象研究審査委員会 (OIST *Human Subjects Research Review Committee*) による審査を受け、承認されています。OIST 関係者は承認過程の詳細は、ウェブサイト (<https://groups.oist.jp/rs/human-subjects-research>) で参照できます。OIST メンバー以外の方で詳細を希望される方は私たちにご連絡ください。

研究への参加について想定される質問への回答を以下に記載しますのでご参照ください。

1. 参加の条件は？

私たちのユニットで実施する多くの研究は人間の行動や認知に関する一般的な特性を調べるものなので、特に選択の基準を設けていません。

被験者募集の広告に応募した際、当ユニットウェブサイトの「参加する」のセクションへ誘導されたと思います。そちらのページで、ユニット内で行われているの様々な実験の説明、情報資料、加えて実験参加プラットフォーム (Sona Systems) へのリンクが掲載されています。私たちの研究に参加したい場合は、まず、Sona Systems のプラットフォームでアカウントを作成する必要があります。

アカウント登録の際、質問フォームに記入するよう求められます。これらの質問は、利き手（右利きか左利きか）、視力（裸眼か矯正か）、聴力、母国語、実験中健康に影響を及ぼす可能性のある疾病の有無（てんかんなど）についてです。他にも、参加する実験で使われる手法

や研究課題により、その実験特有の参加条件に関する質問に答えていただく可能性があります。これらは一般的にデータの比較検討を可能にするための質の確保のため、またはまた、全ての参加者の安全を推進するものです。例えば、視力の弱い参加者がコンタクトレンズや眼鏡を装着しないで実験に参加した場合のデータは、研究課題に関係のない、単に視力の問題でエラーを示すかもしれません。また、てんかんの疾患を持つ参加者は脳波測定が発作を引き起こすかもしれないので、その人たちを避ける必要があります。

研究目的が、例えば特定の疾患（自閉症や ADHD など）や特定の人のグループ（二言語話者、など）の認知や行動を調べる場合は、募集要項にそのことを明示します。

2. 何をすることが求められるのですか？

実験参加の約 24 時間前に、研究者から以下の 3 枚の情報シートが入った情報パッケージをお送りします。

- 一般情報パンフレット：この書類です。
- 実験機器パンフレット：あなたの参加する実験で使用する測定装置やインターフェースについて記載された書類です。
- 実験情報パンフレット：あなたの参加する実験について、より詳細な情報が記載されている書類です。実験に参加する前に、これらの情報を読んでおく必要があります。十分に時間をとって、参加について検討してください。

基本的に、実験前に特別な準備は必要ありません。あなたが健康であり、参加する意識を持っていること、実験前夜にアルコールや薬物を摂取していないことが重要です。

研究者と同意した日時に待ち合いエリア待ててお呼びし、実験室へご案内します。研究者から研究の目的、予想される反応、使用する測定法について説明があります。その後、参加について質問をする時間が与えられ、最大 2 枚のフォームに署名していただきます。

- あなたが研究について十分な説明を受け、自主的に参加する意思があり、また参加が可能であることを確認するための同意書（必須）
- あなたが研究への参加条件を満たしているかを確認するためのスクリーニングフォーム（参加実験によっては任意）

それ以降の手順は使用される実験方法によって異なります。3. 参加しなければならない？

あなたがユニットの主任研究員（トムフロー）や実験に関わる他の研究者を知っている場合でも、研究に参加する義務はありません。これはあなたが研究者らと特別な関係（例えば、彼らの友人や学生、共同研究者であるとか）がある場合において特にそうです。実際に、このよ

うな関係を現在の仕事や個人的に持っている場合は、実験に参加することは許可されません。将来的にこのような関係を持つ可能性があるか予測が難しい場合においても、あなたは実験参加に同意することが当然だと思われていることはなく、参加の決定は完全に任意でありべきであり、実験参加に署名しない場合でも、それがあなたにとって不利益な結果になることはありません。

あなたは参加に同意して、同意書に署名した後でも、理由を告げることなくいつでも研究参加を取りやめることができることを理解しておくことが重要です。参加の撤回により、不利益も被ることはありません。また、あなたが実験に参加した時間に応じた謝金は変わらず受け取れます。

実験開始前に参加を取り下げたい場合は、募集要項に記載されている連絡先の主任研究員に電子メールで連絡してください。実験中に参加を取り下げる場合は、その場にいる研究者に口頭で申し出るだけで十分です。実験への参加が終了した後も、収集したデータが発表されるまで（学会論文、ジャーナル論文など）はそのデータを削除できます。この時点で、術的な透明性と再現性を確保するために、匿名化されたデータは、学データ共有プラットフォームにアップロードされます。当機関のデータ管理ポリシーの詳細については、本文書の5節を参照してください。

4. 研究に参加することで何をいただけますか？

私達の研究に参加していただくことは、適応行動や認知に関する私達の知識の向上に役立ちますが、あなたの身体的・精神的健康に対する直接的あるいは間接的な利益はありません。異なる参加者から収集された全てのデータはグループレベル（異なる実験条件グループごとの反応の平均値の比較など）で分析されます。あなたの行動や精神的な能力など個人の評価を行うことにデータが用いられることはありません。参加への謝礼は、当ユニットが規定する1時間毎の金額基準に従ってギフトカードでお支払いします。

実験の種類	謝礼
EEGを含む実験	1500円
生体データ測定を含む実験	1000円
ロボット操作を含む実験	1000円
行動測定のみ	1000円

複数の実験を含む場合、高いほうの謝礼を適用します。

脳波測定（EEG）と他の検査との価格差は、EEGに伴う不自由さが大きいからです。例えば、EEG測定前に頭にジェルを塗布し、それを実験後に洗い流す必要などがあります。それぞれの

測定に伴う手順の詳細な説明については、実験機器パンフレットを参照してください。

5. 私のデータはどうなるのですか？

いずれかの研究に参加を申し込んだら、まずはじめに、上記セクション1で説明したようなアンケートに記入していただきます。脳波測定（EEG）など、どの研究手法においてもあなたが参加するための選択基準を満たしているかどうかを判断する場合や、特定の実験に適した候補者であるかどうかを判断するために最初に必要な情報です。すべての情報は慎重に扱われます。個人データは、研究チームのスタッフ以外には共有されません。

研究中に収集した実験データは機密情報として扱われます。実験で収集されたあなたのデータはユニークでランダムに生成された匿名コードをつけて保存され、分析されます。あなたの個人データと匿名コードをリンクする情報は、表にして当ユニットのラボコーディネーターの元に保存されます。基本的にあなたが実験に参加している間は、研究者らはあなたとあなたの匿名コードのコンビネーションを知っています。しかし、匿名コードはランダムな文字列や数字の組み合わせで、しかも実験には多くの参加者がいますので、このコンビネーション情報が研究者らの記憶に残る可能性はほぼないでしょう。

研究終了後、署名付きの同意書とスクリーニングフォーム（有る場合）は、ユニットのラボコーディネーターに渡されます。ラボコーディネーターは、このデータを安全な場所で5年間保管します。これは、あなたが後に（ただし保管期間内に）希望した場合にデータを撤回できるようにするため必要な対応です。撤回するためにはラボコーディネーターまたは研究代表者（セクション8参照）にメールでご連絡ください。その際、名前と生年月日をお伝えください。ラボコーディネーターは参照表からあなたの匿名コードを取り出し、

- 1) データ削除スクリプトを実行し、私たちの保管先からあなたから収集した全てのデータを削除し、
- 2) 署名された紙のフォーム破棄し、
- 3) 参照表からあなたのデータに関する箇所を削除します。

いずれの場合においても、保管期間が終了すると、機密データと参照表の関連箇所は破棄されます。

オープンサイエンスの精神に則り、匿名化されたあなたのデータは科学的目的のみのため他の研究者と共有される可能性があります。例えば、あなた方のデータを基に論文で発表された分析結果を再現するなどです。匿名コードをつけないでデータがアップロードされるため、あなたとデータの全てのリンクは切り離されています。この匿名化されたフォーマットで一度アップロードされたデータは、個別に削除することはできませんのでご注意ください。またこのフォーマットで、私たち、あるいは別の研究者らにより将来の研究において、他の研究参加者へ

の実験刺激としたり、別の方法で再分析されたり、別の研究仮説の元などで使われる可能性があります。そのようなデータの共有について、「同意説明文書」の所定の条項にチェックを入れていただく必要があります。

参加に伴い音声やビデオなど追加でデータの記録が必要となる場合は、研究者からお知らせします。このようなデータの使用に関して別途、同意していただく必要があります。ビデオと音声の記録は OIST サーバーの特定の場所に安全に保管され、本研究に関わる研究者しかアクセスできません。いかなる場合においても、あなたのプライバシーは日本の法律に従って保護されます。

6. 事故や有害事象、偶発的所見が生じた場合はどうなりますか？

いかなる事故も起こらないよう最大限の注意を払いますが、予期しない事態が発生した場合は標準緊急手順に従って問題の解決に努めます。また、実験中に予期されない具合の悪さやケガが生じた場合には、全ての診療にかかる費用と交通費は OIST が負担します。

頭皮 (EEG) や筋肉 (EMG) からの電氣的活動を記録する際は、皮膚に電極を装着する必要があります。一般的には痛みを伴わない安全な手順ですが、人によっては軽度の皮膚刺激が生じる場合があります。通常は自然に回復します。

私達の実験は臨床診断を目的としてデザインされたものではなく、研究者は臨床訓練を受けていません。そのため、実験への参加を臨床検査やスクリーニング検査とは考えないでください。例外的な状況下では、新たに収集したデータがあなたの健康状態に関する兆候を示す場合があります。あなたがこれに関する情報の受け取りを希望する場合は、同意書の所定の欄にチェックを入れる必要があります。もしあなたが同意するなら、研究者があなたにコンタクトし、あなたが指定する専門家にあなたの生データをお渡しする機会を提供します。

7. 研究結果はどうやったら見ることができますか？

前述の通り、研究参加者に本人の結果は提供されません。しかし、収集されたデータが学術的な発表につながれば、研究結果として開示されるかもしれません。私たちの研究ユニットの研究を基に発表された出版物はユニットのウェブサイト (<https://groups.oist.jp/ecsu/posts>) に掲載されます。

8. 詳細な情報を知りたい場合は誰と連絡を取れば良いですか？

予約した実験に来られない場合、または時間通りに来られない場合は、できるだけ早く担当研究者にお知らせください。研究についての詳細や、参加を取り止めたい場合についても同研究者にご連絡ください。



実験に対する苦情等がありました場合は、担当実験者、当ユニットのラボコーディネーター山城香 (kaori.yamashiro@oist.jp) またはユニットの研究代表者トムフロース (tom.froese@oist.jp) にご連絡ください。